



花名 ミチミチソウ

(公財)兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

シンガポール共和国 ガーデン・シティー政策

第1回 50年の成果が示す“世界トップレベルの花と緑の都市戦略”

(株)ウイン代表取締役 ランドスケープ・アーキテクト 稲田 純一

兵庫県は、1985年に“全県全土公園化の推進に関する条例”を制定し、県民の願いである“花と緑あふれる美しい兵庫県土づくり”を早くから推進されています。淡路島ほどの国土面積のシンガポールは、ガーデン・シティー構想を基本にした国づくりを50年にわたり続けてきました。その取り組みの数々が兵庫県の花と緑のまちづくりの参考になると思い、ガーデン・シティーのこれまでの歩みを紹介します。

1965年、シンガポール共和国はマレーシア連邦から独立。天然資源のない小国シンガポールの独立は無謀であり、国は成り立って行かないだろうと予測されましたが、それから50年、シンガポールは見事に世界トップレベルの国際都市国家に成長しました。世界の都市は今、都市間競争を如何に勝ち抜くかに必死ですが、シンガポールは50年も前の独立時、国の成り立ちが危ぶまれる状況にありながら、ガーデン・シティー構想による国づくりを行う事を決断し、そのことが現在のシンガポールの成功につながりました。

私は、1983年11月、シンガポール共和国政府パークス & レクリエーション局に当初ランドスケープ・アーキテクト、その後計画開発部長として、このガーデン・シティーの計画・建設に関わって来ました。

担う庭園として、国際コンペが行われ、イギリスの造園コンサルタント、グラントアソシエーツがマスタープランを担当し、私も岩組などスペシャルガーデンを担当しました。



シンガポール中央庭園 GBTB スーパーツリー

このGBTBは、次世代の環境を重視した都市建設のバイオニアとして、新都心の建物群の建設が始まる前に整備が行われ、2007年に着工されました。次世代のシンガポールのまちづくりは、公園や緑地をまず整備し、建物はその緑の中に建てて行くという方針で、政府はこの取り組みを“City in a Garden (庭園の中の街)”と命名し、世界に先駆けて緑を先行する次世代のガーデン・シティーづくりを始めました。

今、シンガポールのまちづくりは環境型の先進事例として世界の注目を集めています。



シンガポール中央庭園 GBTB

写真は、2012年11月にオープンした新都心の中央庭園Gardens By The Bay (GBTB)です。GBTBは、シンガポールの世界戦略における都市ブランド・イメージを



マリーナベイサンズホテル 屋上プール 写真提供:福岡将之氏

今回は、ガーデン・シティーの舞台裏を紹介します。

～ 平成24年度第14回 人間サイズのまちづくり賞 ～

知事賞

～～花と緑のまちづくり部門 知事賞受賞者 紹介～～

兵庫県では、県民の参画と協働による“人間サイズのまちづくり”を推進するため、平成11年度から「人間サイズのまちづくり賞」として、まちづくりの推進に寄与する優れた建築物や顕著な功績のあった団体などを顕彰しています。この度、「花と緑のまちづくり部門」で次の3団体が知事賞を受賞されましたので、ご紹介します。

◎尼崎南部グリーンワークス(尼崎市東海岸町) 代表者 黒田 光枝

みつえ

知事賞



コンテナへの植栽作業



「すき間緑化」の冊子

「都市と自然との共生」、「人と自然との共生」をテーマに、地域住民と事業者の協働により尼崎南部の工場地帯等、都市の空間(すき間)を使った「すき間緑化」を展開。都市緑化、生物多様性を普及啓発するフォーラム等を開催しています。

◎鶉野中町花家族の会(加西市鶉野町) 代表者 尾花 幸雄

うすらのなかちよう

おほな

ゆきお

知事賞

公会堂、公園、沿道、交差点等、1,340㎡の緑化面積に12,400本の花苗を植栽。23年度からはサツマイモづくりや芋掘り大会を通じた地域活性化や、地域資源である防空壕の復元整備に伴う、周辺の花壇づくりに取り組んでいます。



フラワーロード



芋掘り大会

◎みなとのもり公園運営会議(神戸市中央区) 代表者 辻 信一

のぶかす

知事賞



公園内での花苗の育苗



運営会議

みなとのもり公園内の森の育成管理や利用ルールづくり、イベントの開催などを市民・利用者が行政と連携しながら進めています。公園内で種から花苗を育て、公園内に植栽するほか、地域団体に配布し、地域の花緑の普及に努めています。

県民まちなみ緑化事業による 活用事例の紹介

花や緑は、うるおいのなかった道路沿いや空き地、駐車場などの景観を一変させるとともに、人の心を癒す大きな役割を果たします。

兵庫県では、県民の皆さんが行う緑化活動を支援するため、平成18年度より「県民緑税」を活用した「県民まちなみ緑化事業」を展開しています。植樹や芝生化などの緑化活動に対して必要となる苗木や肥料などの緑化資材を補助し、県民の皆さんには、樹木の植栽や芝張り、その後の維持管理を行っていただいています。以下に県民まちなみ緑化事業の活用例を具体的にご紹介します。

なお、県民まちなみ緑化事業は現在も募集しています。問い合わせ先等は末尾に記載していますので、参考にしてください。平成25年度は、補助対象地域を拡大し、更に補助要件を緩和するなど活用しやすくなっています。

一般緑化(植栽、生垣、修景)

ひろば、公園、道路、河川沿い、学校等の植樹、戸建て住宅、マンション等の生け垣の設置、土石採取跡地、廃自動車置き場等の修景緑化

道路沿いの植栽 <川西市>



<実施前>



<実施後>

住宅地と県道の歩道との間の法面が、いろどりのある低木の植栽で見違えるようになり、雑草が茂るのを防止する役割も果たしています。

河川と市道間の空き地の植栽 <伊丹市>



<実施前>



<実施後>

近隣住民が行き交う道路沿いが色鮮やかに植栽され、ゴミのポイ捨て、不法投棄の防止にも役立っています。

公園の植栽 <西宮市>



<実施前>



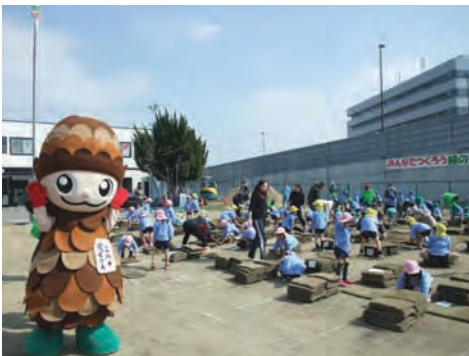
<実施後>

公園入り口のリニューアル。立ち枯れした桜を植え替え、低木を植栽し、芝生を張って生まれ変わりました。

校園庭、ひろばの芝生化

学校、幼稚園、保育園の校園庭、公園、ひろば、グラウンド等の芝生化

園庭の芝生化 <高砂市>



<実施前 園児たちによる作業風景>



<実施後>

園児自らが作業することで芝生化を身近に感じ、情操教育や温暖化防止にも役だっています。

校庭の芝生化 <多可町>



<実施前>



<実施後>

生徒たちと教師と一緒に作業することで、自分たちのグラウンドであるとの自覚が増し、連れだって遊ぶ姿が目立つようになりました。

駐車場の芝生化

商業施設、工場、マンション、事務所、公民館等の駐車場、月極駐車場の芝生化

会館内駐車場 <川西市>



工場内駐車場 <三木市>



組合駐車場 <伊丹市>



(写真はすべて実施後)無味乾燥な駐車場も、芝生化により見た目が良くなり、猛暑の夏には、涼やかさをかもし出します。

建築物の屋上緑化・壁面緑化

商業施設、幼稚園、病院、マンション、工場等の屋上緑化(芝生・植樹) または壁面緑化

幼稚園の屋上緑化 <神戸市>



<実施後>

実施後、裸足で歩きまわれるほどふかふかの芝生となりました。
三階建ての屋内も涼しくなりました。

組合建物の壁面緑化<伊丹市>



<実施後>

倉庫兼事務所の壁面にシダ類を植え込み、景観の涼しさと、夏の暑さを遮る役割が期待されます。

県民まちなみ緑化事業の募集について

○募集期間:~平成25年12月2日(月)まで。

○問い合わせ先

♣一般緑化 ♣校園庭・ひろばの芝生化 . . . 各県民局土木事務所担当課

県民局	担当課	TEL番号	県民局	担当課	TEL番号
神戸	神戸土木事務所 まちづくり課	078-737-2192	中播磨	姫路土木事務所 まちづくり建築課	079-281-9313
阪神南	西宮土木事務所 まちづくり建築課	0798-39-1546	西播磨	光都土木事務所 まちづくり建築課	0791-58-2259
阪神北	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	0797-83-3191	但馬	豊岡土木事務所 まちづくり建築第1課	0796-26-3756
東播磨	加古川土木事務所 まちづくり建築課	079-421-9402	丹波	丹波土木事務所 まちづくり建築課	0795-73-3863
北播磨	加東土木事務所 まちづくり建築課	0795-42-6176	淡路	洲本土木事務所 まちづくり建築課	0799-26-3213

♣駐車場の芝生化 ♣建築物の屋上緑化・壁面緑化

. . . 兵庫県県土整備部まちづくり局都市政策課緑化政策係 TEL 078-362-3563

グリーンメッセージ

香りのあるまちづくりをこころざす

兵庫県参与
花と緑のまちづくりセンター長
石原 憲一郎

まちを散策した時に感激するのは、まず目に鮮やかな花や緑の美しさ、いわば視覚によるところが多いのですが、実は嗅覚による「香り」も感激の大きな要素です。香りのある生活は、心を癒し豊かにしてくれます。最近、ハーブを上手に利活用し、潤いあるライフスタイルを追求するご家庭が急増しています。

環境省では、まちづくりに「かおり」の要素を取り込むことで、良好なかおり環境を創出しようとする地域の取り組みを支援することを目指して、「かおりの樹木・草花」を用いた「みどり香るまちづくり」企画コンテストを、毎年実施しています。最も優れた企画には、環境大臣賞の授与と100万円相当(平成25年度実績)の「かおりの樹木、草花」が提供されます。これまでに県内から、神戸市北野地区の布引ハーブ園一帯と芦屋市芦屋中央公園が受賞しています。品格のあるまちづくりの一つとして、他の都市からの応募

が期待されます。(詳しくは環境省HPをご覧ください。)

また今年は、神戸ビエンナーレ2013に呼応して(公社)アロマ環境協会が、「イメージフレグランスコンテスト2013」を“テーマ:「神戸市」”で実施します。「神戸市」をイメージしたナチュラルフレグランスを公募して、神戸市の「かおり」を選ぶコンテストです。(詳しくは、(公社)アロマ環境協会のHPをご覧ください。)



イメージフレグランスコンテストのチラシ

日本人は、古来暮らしの中で香りを楽しんできました。玉岡かおるの「お家さん」に登場する神戸生まれの大商社「鈴木商店」は、その創成期に樟脳、薄荷を世界各地に輸出し、企業としての基盤を作りました。

当時、樟脳を生産するため県下各地に樟の植林が行われ、現在も大木になり残存しています。神戸にゆかりのある樟脳を、香りの一つとして見直す必要があるかもしれません。まさに、香りビジネスの本場が兵庫県にあったのですね。

参考文献:

玉岡かおる著『お家さん』上・下巻 新潮社
吉武利文著 『香料植物』 法政大学出版局



心を癒すハーブガーデン
(カナダ・ナイアガラ園芸学校)



わが国に根付くクスノキの大木
(神戸・三ノ宮 生田神社の御神木)

<ハーブを知るためのお薦め図書>



(<http://www.npo-jhs.jp/>)

NPO法人ジャパンハーブソサエティー著
『ハーブの教科書 ~こころ・からだ、環境にやさしいハーブ~』
草土出版 定価3150円

ハーブは、古代オリエント文明から有用な植物として、「薬」「食材」「染料」「虫除け」等様々な用途に用いられてきました。

本書は、450以上のハーブがカラフルに紹介され、食材、手工芸や香料としての利用、美容・健康、ハーブの歴史、分類学、形態学、栽培方法など幅広い内容が収められており、初心者だけでなく専門家も満足できる内容になっています。

豊かな暮らしの象徴として、ハーブを暮らしに取り入れる「ハーバルライフ」をみざす方、まちづくりにハーブを利活用されたい方の良き指南書となるはずです。

是非お手元に一冊おいて、暮らしのワンランクアップをみざしませんか。

ほっと

●●● 相談員ニュース ●●●

緑の相談所長 若松 康史

ニチニチソウを楽しむ 梅雨時期以降の管理

ニチニチソウとは

ニチニチソウは熱帯地域のマダガスカル島を原産とする植物で、炎天下にも負けず可憐な花を次々と咲かせることから、夏のガーデニングに欠かせない草花の1つとなりました。

大敵は疫病

ただ、花壇や庭に植えると梅雨明け頃から葉や茎が傷み始め、植物全体が萎れてダメになってしまうことが良くあります。これは疫病によるもので、強い日差しや暑さには強いニチニチソウですが、梅雨時期の高温多湿のジメジメした環境では疫病にかかりやすくなります。

花壇では季節の花を頻繁に植え替えたり、土壤水分が多くなりがちなので、土壤菌のバランスが悪くなり、疫病などの土壤病害を引き起こす悪玉菌がどうしても多くなってしまいます。花壇に植える場合は腐葉土や堆肥などの有機物を多く混入し、土面を高くして水はけをよくし、雨による土の跳ね返りを防ぐためにマルチングを行うなど万全の対策をとるようにして下さい。

しかし、最近では疫病に強い品種も流通していますので、品種さえ選定すればニチニチソウの美しい花壇を楽しむことができます。

鉢植えで楽しむ

フリンジ咲きや八重咲きなど、新しい品種は性質が弱い傾向にあります。鉢植えの場合は新しい土に植え付ければ土壤病害のリスクも少なくなり、比較的乾きやすい環境にもなるので鉢やコンテナで楽しむと良いでしょう。

花を長くきれいに咲かせるコツ

梅雨時期は葉の上に付いた花ガラから灰色カビ病などの病気が発生しやすくなるのでこまめに取り除いて下さい。また、花ガラが落ちた後にタネの入ったサ

ヤがでるので、定期的に摘み取るようにしてください。茎が伸びすぎてバランスが悪くなった株は8月の終わり頃までに株全体の半分程度まで切り戻すと、秋遅くまできれいな姿で花を楽しむことができます。



疫病抵抗性品種は安心して花壇に植えることができます。
(品種:コーラ)



花壇で楽しむ場合は直接植え込まず、敷石の上にコンテナを配置すると、立体感のある花壇になります。



葉の上に落ちた花ガラや、サヤは見つけ次第取り除きます。

園芸相談コーナー

10:00~12:00

13:00~16:00

火曜日を除く毎日

Tel 078(918)2405

Fax 078(919)5186

写真や実物をご持参いただきますと、
お話ししやすくなります。

県下の相談所紹介

第9回 兵庫県立フラワーセンター

兵庫県立フラワーセンターは、県下に花と緑を広める施設として、加西市の中央部に昭和51年4月25日に開園されました。46haの敷地に花壇、樹木園、温室が設置され、年間を通して地域の園芸愛好者と連携して多くの催しを開催しています。園芸相談、園芸教室(園内・園外7カ所)の開催、各市・花家族(会員組織)・学校への講師派遣、市町への花壇苗の配布、花の販売などを実施しています。

相談所は、南ゲートを入った無料で利用できるガーデンショップ内に設置されています。お気軽にご利用ください。



花の相談所(ガーデンショップ内)

問い合わせ 兵庫県立フラワーセンター
 せ先 〒679-0187 加西市豊倉町飯森1282-1
 TEL 0790-47-1182 FAX 0790-47-1561
 Eメール ryoka@flower-center.pref.hyogo.jp
 開園時間 9時～17時(入園16時まで)
 相談時間 9時～12時、13時～17時
 休園日 毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日)
 12月28日～1月1日(相談所は1月4日まで休み)
 ただし、チューリップまつり、菊花展の開催時は無休。



噴水のある四季の花壇

(公財)兵庫県園芸・公園協会設立40周年記念 「図画コンクール」作品募集

(公財)兵庫県園芸・公園協会は、平成25年度に設立40周年を迎えます。これを記念して「図画コンクール」を実施しますので、皆様からのご応募をお待ちしています。優秀な作品は、公園パンフレットやホームページ等で広く紹介します。

「図画コンクール」応募要領

- ◆募集期間：7月20日(土)～8月20日(火) ※8月20日(火) **必着**
- ◆募集テーマ：「ぼくたち・わたしたちの公園」 ※作品の対象公園は下記参照。

◇対象公園

明石公園、フラワーセンター、播磨中央公園、西猪名公園、赤穂海浜公園、淡路島公園
舞子公園、一庫公園、有馬富士公園、淡路佐野運動公園、三木総合防災公園
丹波並木道中央公園、多可町北播磨余暇村公園、あわじ花さじき

当コンクールの応募チラシ・応募票が公園ホームページからダウンロード
できます。実施内容の詳細については、当協会ホームページをご覧ください。



◆HPアドレス
<http://www.hyogo-park.or.jp/>

問い合わせ先・応募先

- ①〒673-0847 明石市明石公園1-27
(公財)兵庫県園芸・公園協会 総務部 公園支援課 担当：薬師寺、櫻井
電話(078)912-7603 (平日：9時～17時まで)
- ②お近くの公園管理事務所(上記の対象公園の管理事務所)

花と緑のまちづくりセンターだより 25号

- 平成25年7月31日発行(年4回発行)
- 編集発行 公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター長 石原 憲一郎
〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター
TEL：078(918)2405 FAX：078(919)5186 Eメール：info_midori@hyogopark.com